

トピックス 認知症サポーターをご存じですか？

認知症サポーターとは、「認知症サポーター養成講座」を受講された人で、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になり、自分のできる範囲で手助けをします。

認知症サポーターに期待される5つの役割

1. 認知症に対して正しく理解し偏見を持たない
2. 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る
3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する
4. 地域でできることを探し相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる
5. まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する

認知症サポーターになるには、認知症サポーター養成講座を受講することが条件になります。この受講は各市町村で実施されており、費用は無料です。



理念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
 - 2 患者様の立場に立った医療を実践する。
- 私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。
- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
 - 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
 - 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。

- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責務

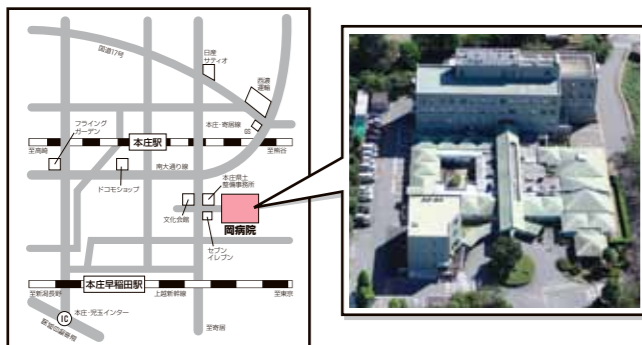
- 1 患者様は当院に病状・既往歴（現況も含む）・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等ございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。
1階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人 桂水会 岡病院

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL <http://www.oka-hospital.jp>



総務課 小峯 撮影

謹賀新年

医療法人桂水会 岡病院

理事長 岡 治道

新年明けましておめでとうございます。

昨年は透析新棟の建設、旧病棟の全面改修を行い地域包括病床、療養病棟を新設し、急性期から慢性期まで幅広く対応出来るようになりました。

設備的にはナース・ステーションの拡大・改修工事、電子カルテのバージョンアップ、患者ベッドの自動表示システムの導入、リハビリ室の拡大、患者食堂の新設、介護浴槽の入れ替えなどハード・ソフト両面で大幅な改修工事を行い、全く新しい機能を有する病院へ生まれ変わりました。

皆様のお役に立てるようこれからも職員一同一層精進いたしますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。





新年のごあいさつ



謹賀新年

今年も宜しく願い申し上げます

院長代理 今井嘉門

昨年10月、臓器移植法の施行から20年目を迎えました。平成29年10月17日の日本経済新聞の電子版に、下記の様な記事が掲載されていました。

日本臓器移植ネットワーク（JOT）によると、脳死・心停止を合わせた2016年の臓器提供件数は96件にとどまり、移植法施行から毎年100件程度で推移している。人口100万人当たりの国際比較(13年)では、日本の0.7件に対し、米国26.0件・英国20.8件・ドイツ10.9件・韓国8.4件で、日本の水準の低さが目立つ。内閣府が13年に行った臓器移植に対する世論調査では、臓器提供を「する」または「しない」という意思をカードで明確に示している人は12.6%にとどまった。

各種の原因で臓器機能が低下して、最後の治療である臓器移植を希望してJOTに登録している方は、心臓528名、肺304名、肝臓359名、膵臓199名、腎臓12,623名、小腸4名とのことです（平成28年9月現在）。

臓器提供の意思表示の方法は大きく分けて三つの方法があります：1）インターネットによる意思登録、2）運転免許証・健康保険証・マイナンバーカードの臓器提供意思表示欄への記入、3）臓器提供意思表示カードへの記入。

新年早々、死後に行なわれる臓器提供について考えることは縁起でもないなどと思わず、自分なりの結論を出しておくことをお勧めします。そして、意思表示されることも勧めます。

新年のご挨拶

看護部長 徳世良重

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては さわやかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年、地域医療に貢献する岡病院は、2025年の超高齢化社会到来に向けて、療養病棟を9月にオープンしました。それまでの期間、従来の管理部門を療養病棟へ改修、3階・4階病棟のナースステーションの拡大改修、患者さんの呼び出しコール（ナースコール）および特別浴室の更新など長期間におよぶ改修工事が無事終了いたしました。その間大変ご不便をおかけしたと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。変化の多い一年に大変戸惑われたことと思います。この改修工事等の中で患者さんに一番喜ばれたのが新しい特別浴室（ストレッチャー式シャワー入浴装置）の導入です。お風呂好き日本人には欠かせない設備です。ストレッチャーに乗った状態のまま、お風呂同様の気持ち良い入浴ができます。入浴後の患者さんの「ありがとう」とその笑顔に、更新してよかったと実感しています。今後も、「目配り、気配り、心配り」を強化して、患者さんやご家族の思いに寄り添える看護を提供していきたいと思っています。地域医療に貢献する中規模病院として、患者さんやご家族の方々に信頼され、安心していただける医療・看護の質向上に向けて一層努力してまいります。

最後になりましたが、今年一年が皆さまにとりまして、幸せで実り豊かな年となりますことを心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2018年新年の挨拶

副院長 尾碕俊造

新年あけましておめでとうございます。

皆様方はお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2018年の今年の干支は戌年（いぬどし）です。

十二支、十干での正式には戌戌（つちのえいぬ、ほじゅつ）となっています。

一般的に戌年生まれの方は堅実で義理深いといわれているようです。

また戌年の守り本尊は阿弥陀如来と言われています。阿弥陀如来は深い慈悲で極楽浄土へ導いてくださる仏です。慈悲でわれわれ衆生を、安心できる幸せな1年間にしてくださいと思います。

そのためにも今年こそ、これまでの問題点を見つめなおして、堅実な一年を過ごせるようになることを政治家や経済界の方々に期待したいと思います。

ところで、当院では昨年入院患者さんのための病床の増設許可が、認可され、入院ベッドの増設が可能となりました。

そのため、今までの急性期疾患を扱う一般病床は以前同様にありますが、保健医療制度上、今まで在院日数が21日を超えると、退院を余儀なくされていた患者さんのために、入院期間がさらに60日間継続できる新たな24床が増設されました。この増床されたベッドは地域包括ケア病床といって、ある程度治療のめどが立った方で、まだ自宅での生活に不安があったり、自宅での生活のために改築が必要で、日数がかかるなど、直ぐに自宅への退院が困難な方のために、自宅に帰って、生活が安心してできるまでの調整を行い、在宅復帰を目指すためや、また終末期悪性腫瘍などで緩和治療を目的とした患者さんなどを対象とした病床です。

またさらに帰宅したくても様々な環境要因があり、帰宅が困難な方々のために、生涯入院管理が可能な療養病床も33床用意し、現在の高齢化社会の医療状況に対応すべく、病院体制の変更をいたしました。

この体制で新たな岡病院として本庄市及び周辺地域の地域医療における皆様の必要性に合わせた受け入れ体制で診断、治療および一部介護を行っていくことを目標としております。

皆様方が安心して入院ができる病院として利用をしていただけるように、さらに一層職員一丸となって対応していく所存です。

今後ともよろしく願いいたします。

この新しい年がより佳き年になるように心より祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

事務長 岡崎洋介

新年あけましておめでとうございます。

昨年9月に当院は病棟体系を変更致しまして、入院病床数が85床から109床に増床致しました。今までは一般病床のみの病院でしたが、地域包括ケア病床ならびに療養病床が新たに増えた事により、急性期・回復期・慢性期といった患者様の状態に応じて入院して頂く事が可能となり、病院としてより機能的になったと思います。

当院をご存知の方に病院のイメージを伺うと、「岡病院さんと言えば透析だよ」といった声が多いという印象を受けます。もちろん関東屈指の透析施設を有しているものでありがたい事ではありますが、本庄市近辺だけでなく県外からも信用して来院して下さる患者様が大量にいらっしゃる事で大変感謝しております。ただ、近年は大手の病院でさえも経営不振で倒産するというニュースを目にします。高齢化が進み、国の医療費負担が年々大きくなっていく事で、ある分野においては診療報酬が引き下げられるのも仕方ない事だとは思いますが、一昔前のように「病院だから倒産なんてしないよ」という時代はもうありません。当院におきましても今後どうなるかわからないという気持ちは抱きつつも、患者様やスタッフに不安を抱かせない経営を目指さなければいけないと思っております。この度の増床はその為に必要であったと思っておりますし、より多くの患者様や地域への貢献ができると確信しておりますので、改装工事が完了して実際に稼働した際は一安心致しました。

今後も高齢化、人口減少、消費税増税等の課題がたくさん出てくると予想されますが、その中でもより良い医療を提供できるよう日々精進していきたいと思っております。